

ワムタウン 広場

WAM Town Open Space !

3月1日(金) 第76号 2013年/平成25年

協力 医療法人啓仁会/医療法人昭仁会/社会福祉法人栄光会
医療法人社団紫雲会/医療法人社団隆豊会



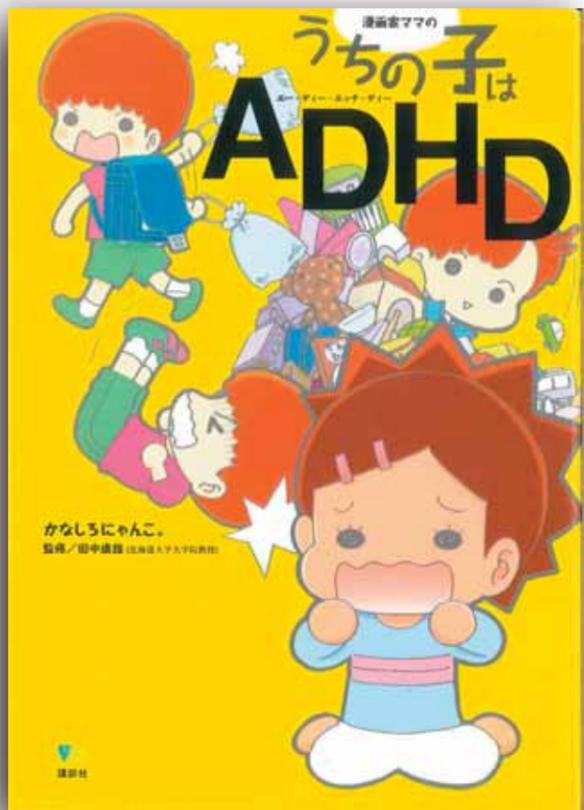
■ 発行 ワムタウンネットワーク推進協議会
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目20番地1
TEL 04-2947-0111 FAX 04-2947-0113
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp



おすすめ図書

医療法人啓仁会 平成クリニック

『うちの子はADHD』 『僕はアスペルガー症候群』



『うちの子はADHD』かなしろ じゃんこ著・田中康雄監修
講談社 1,400円

みなさんは「発達障害」という言葉を聞き、何をイメージされますか。テレビ、インターネットなど私たちの周りには多量の情報が飛び交い、様々な情報が生み出されています。「発達障害」という言葉はよく耳にするけれど、具体的にどのような症状があるのかわからない方も多いのではないのでしょうか。発達障害者支援法において、発達障害は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」(発達障害者支援法における定義 第二条と定義されています)。

今回はその中の注意欠陥多動性障害(ADHD)とアスペルガー症候群をピックアップし、「うちの子はADHD」と「僕はアスペルガー症候群」というマンガを紹介したいと思います。「うちの子はADHD」は、ADHDの息子を育てる母親が、日々悩みや不安を抱きながらも息子と向き合い、特性を受け入れていく実体験を描いたマンガです。ADHDは、通常7歳以前にあらわれる、注意力散漫もしくは、その子どもの年齢や発達レベルに見合わない多動性や衝動性、あるいはその両者が特徴です。周囲の理解がないと「しつげがなっていない」「乱暴に育てないでくださいね」などと誤解され、子どもだけでなく親の心も傷つきます。作品の中の「マイナス面ばかり気になって、いいところを見てあげるのを忘れていました」という母親のセリフが印象的でした。少し意識をして視点を替えるだけで、関係をプラスに改善できるのだと感じました。このマンガは、子どもの教育のみではなく、大人の対人関係においても活かせる内容が多く含まれています。「僕はアスペルガー症候群」は、アスペルガー症候群の青年が、正しい診断に辿り着くまでに起きた日常生活での様々な問題を、実話に基づき描いた心理教育マンガです。アスペル

ガー症候群とは、対人関係の障害があり、限定した常同的な興味、行動および活動をするという特徴があり、明らかな認知の発達、言語の遅れを伴いません。作品の中で、青年期にやっと医師から診断を受けた主人公が「僕、今、僕が誰かようやくわかったんです」と言う場面があり、この言葉から本人がこれまでどれだけつらい思いをしてきたのか想像ができます。早期に気づき、適切なサポートを受けることは「自分らしさ」を高める上で重要なことであると改めて感じました。当事者の目線で、ライフステージごとに起きる問題が描かれているため、それぞれの時代で直面する壁を知ることができ、生きづらさを理解することができます。



精神保健福祉士 江端 舞



『僕はアスペルガー症候群』そろ著・長谷川知子監修
講談社 1,300円

石巻産婦人科セミオープンシステムへの参加

医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院 副院長 石橋 清人

みなさんはセミオープンシステムというのを存じてでしょうか？

妊娠とわかったらお産をする病院を決めて、妊娠中からその先生に診てもらおうというのがこれまでの一般的なスタイルでしたが、最近は分娩を扱っていないクリニックや産婦人科医院が増えたため、お産をする病院で健診を受けるためには時間をかけて遠くまで通院しなければいけないという問題がでてきました。

このような世の中の変化に対応するため、「普段の妊婦健診は近くの診療所で、お産は分娩施設へ」というシステムを

「セミオープンシステム」と言います。

震災前、石巻医療圏では5施設で分娩を扱っていましたが、震災時、石巻十字病院を除く全ての分娩病院が被災し、震災直後は石巻赤十字病院へ妊婦さんが殺到する状態となりました。そこで、急増する妊婦健診に対応するため、石巻赤十字病院主導の下、平成23年7月より石巻地区で「セミオープンシステム」が導入されました。

現在、分娩病院3施設+連携施設5施設で運営されており、多くの妊婦さんにセミオープンシステムを利用してもらえ

るなど成果が出てますが、分娩施設はやはり少なく大変な状況が続いています。

そのような状況の中、平成25年1月22日に「石巻地区産科セミオープンシステム会議」が開催され、出席して参りました。当院では平成24年10月に婦人科診療を開始しており、当該会議にて参加を表明させていただきました。

今後、周辺病院との連携を密に運用などを調整し、妊婦健診の受け入れを開始したいと考えております。

【オープンシステム】

妊婦健診は診療所で受診、分娩の際は分娩病院に入院し（開放型病床を利用）、診療所の医師が分娩病院に来て分娩を行う。

【セミオープンシステム】

妊娠34週までは妊婦健診は診療所で受診し、以降は分娩病院を受診、入院し、分娩病院の医師が分娩を行う。



セミオープンシステムのメリット

- ◎ 普段の妊婦健診は自宅に近いかかりつけの産婦人科で手軽に受けられ、通院時間や待ち時間が少なくてすむ。
- ◎ 妊娠中に急な異常がおこった時には、いつでも分娩予定の病院で対応してもらえる。
- ◎ 母親教室なども分娩予定病院に通院している妊婦さんと同じように受けることができる。
- ◎ 「共通診療ノート」を通じて、それぞれの医療機関が妊産婦さんの診療情報を共有・活用できるので、同じ検査を繰り返すといった無駄を省くことができる。・・・など



連携病院の先生方や市町村の保健師さんにて意見交換が行われました

以下、本人からの感想です。
「この度、平成24年度「権利擁護推進等」身体拘束廃止推進員養成研修を、昨年9月～12月にかけて受講してまいりました。静岡県内の施設及び病院から64名が集ま

り表彰されました。
発表当日は当施設からも数人、応援のために会場入りしました。大勢の観客の熱気と緊張のなか、堂々とした発表ぶり、そしてその内容が極めて優れており、フォーラム参加者からも高く評価されておりましたので、後日全体朝礼にて異施設長より表彰されました。

「ロイヤル桜が咲き誇ります」
もうすぐ、桜の花も咲き始める時期となりましたね。
当院では患者さまに、季節感を味わって頂きたいという想いの下、ロイヤル桜を作成しています。ロイヤル桜とは、手作りの桜のことで、一つ一つ花びらを作り、木に飾りつけます。毎年、本物の桜以上？の見ごたえのある桜が完成します。現在、患者様のご協力の下、職員が一丸となって準備を進めています。今春のロイヤル桜は1階ロビーにて咲き誇ります。ロイヤル桜の見ごろ（展示期間）は4月15日～30日の予定です。ぜひ、足を運んで春を満喫してみてくださいでしょうか。
理学療法士 池田 浩由

医療法人 啓仁会 介護老人保健施設 いとうの杜

身体拘束廃止フォーラムにて
櫻井康成介護職員が発表いたしました。
平成25年1月24日（木）に、静岡市のグランシップに於いて、社団法人静岡県看護協会主催による「身体拘束廃止フォーラム」の実践報告に当施設の櫻井康成介護職員が発表者として選ばれました。（選ばれただけでも快挙です！）
発表当日は当施設からも数人、応援のために会場入りしました。大勢の観客の熱気と緊張のなか、堂々とした発表ぶり、そしてその内容が極めて優れており、フォーラム参加者からも高く評価されておりましたので、後日全体朝礼にて異施設長より表彰されました。



医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院



桜の花はここから作り上げます



満開のロイヤル桜です